

平成27年度 自己評価

学園の教育目標

キリスト教、カトリックの教えに基づき、祈りを通して感謝する心、互いに愛する心、尊敬し合う心を育て、一人ひとりを大切にする宗教教育。

- キリスト教精神に基づいた心豊かな、愛に満ちた、たくましい子どもの育成。

かけがえのない人格を持った子どもたちが、整えられた環境の中で、自分の能力、興味や関心によって、作業を選択し、自分のペースで活動することで達成感を味わい、自己形成ができるモンテッソーリ教育。

- 子どもの自発的活動を通して自立をめざす。
- 3・4・5歳児の縦割りクラス編成により、「助けあったり、教えあったり、ゆずりあったり」の体験を通して、社会性を育てる。

本年度の重点目標・計画

教育内容に関して

- ◆ 自立し、安心して過ごす中で、友だちとのかかわりを通して、思いやりの心を育む。
- ◆ モンテッソーリ教育の充実
- ◆ 宗教教育の充実
- ◆ 2歳児保育の充実
- ◆ 預かり保育の充実
- ◆ 保護者とのつながりを深める。

施設関係整備

- ◆ 通園門 外階段出入口 2歳児クラス出入口 電磁錠新設
- ◆ 連絡網 一斉送信メール システム導入
- ◆ 園庭 砂場 砂入れ（抗菌砂）
- ◆ 園庭 遊具 錆取り塗装工事
- ◆ 預かり保育室（和室） ジョイントマットに張替
- ◆ 園舎 保育室等 網戸張替
- ◆ 1階廊下フローリング部分修繕
- ◆ 雨水排水管詰まり 高圧洗浄
- ◆ 園庭 遊具 丸太入れ替え

4	教職員同士の協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教師間の連携を十分に図り、保育の在り方を考え、教材研究、実践研究、新任教員への指導などに努めているか。 ・幼児のことについて常に教師間で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有しているか。 	<p>保護者 教師間の連携はよく図られていた。</p> <p>教師 毎日の振り返りや、ミーティング、園内研修棟で、格差のない保育を心掛けていきたい。</p>	<p>B</p> <p>B</p>
5	教育環境の構成 幼児のみとりと理解	<ul style="list-style-type: none"> ・全教師が即座に生かせる感性、保育技術を高め、子どもたちが楽しく生活したり、学んだり、育ちあったりできるあたたかい環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか。 ・幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか。 	<p>保護者 3・4・5歳児の縦割りクラス編成により、助けあったり、教えあったり、育ちあう姿が見られた。</p> <p>教師 「あてはまる」が122名あり、保護者のみなさんからは一定、信頼されているように受け取られる。保育者はどのような場合にも子どもと向き合うときは、1対1の関係を保つように努力をすべきであり、これを常に心に留め、日々の保育に努めたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p>
6	地域との連携 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携交流、園外の施設との交流などにより、人の温かさや、心配り、大きくなることの意味を感じる活動に取り組めていたか。 * 預かり保育 ・本園の教育方針に従った保育を行っているながらも、縦割り保育のよさを生かし、家庭的な雰囲気づくりに努めることができているか。 ・手作りおやつを増やし、楽しいおやつを持つ 	<p>保護者 園外に出かけることにより、いろいろな立場の人と出会い、社会ができていくこと学べる機会を増やしてほしい。</p> <p>教師 私立幼稚園としての本園の在り方は、広範囲の地域から通園する保護者にとっては、見えにくくなっているものと思われる。カトリック教会所属の幼稚園としての存在価値を今後も高めるよう努力していきたい。</p>	<p>C</p> <p>C</p>
7	安全への配慮 安全管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、自然災害に対する訓練、安全指導などを繰り返し行い、とっさの判断で教師と子どもが連携して身を守れるようにしていく。 ・緊急時の対応手順について、全教職員が共通の理解を持てるよう取り組んでいるか。 	<p>保護者 いろいろな想定で訓練していることを、家庭でも話題にしている。</p> <p>教師 今後も緊急時のマニュアルについて、保護者にその徹底をはかり、子どもの安全確保に更に努めていきたい。</p>	<p>B</p> <p>B</p>

8	<p>施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や、言葉かけが十分にできているか。 ・遊具などの安全点検を行えているか。 ・園内外、常に美化を心がけることができているか。 	<p>保護者 危険箇所への配慮が不十分な箇所が見られる。</p> <p>教師 「あてはまらない」が3名あり、保護者や子どもたちに不安を覚えさせることのないように、十全の努力をしたい。施設内の点検に従事して、逐次その改善に努めていきたい。</p> <p>美化については、全員の方が「あてはまる」と回答いただいた。これは、日頃の保護者ボランティアグループのみなさんのお世話のおかげが大きいと認識している。幼稚園は子どもたちに「安心・安全・安定」を提供する環境でありたい。</p>	<p>C</p> <p>C</p>
---	---	---	-------------------

教育内容に関して

- * モンテッソーリ教育法を学び合う園内研修を月2回実施したことにより、積極的に教師相互の学び合いがなされるようになった。それにより、保育の質が高まった。
 - * モンテッソーリ教育の体育指導法を教員が積極的に学ぶことで、子どもの基礎体力が向上してきた。
 - * 理事長先生の学期ごとの聖書の解説により、保護者の方がカトリック精神に触れ、カトリックに対する理解を深めることができた。
 - * 未就園児2歳児クラスでは、週3回コースを増やしたことで、子どもが充実した園生活を過ごすことができ、満3歳児入園につながっている。
 - * 預かり保育では、日数、時間等を増やしたことで、参加人数が大幅に増えた。
- また、「働いていても幼稚園に」という保護者が増えつつあり、園児数増加につながってきている。

総合的な評価結果

2016年5月21日（土）に開催された評議会でおおむね達成と評価された。

今後取り組むべき課題

教育内容に関して

- * カトリック教育、モンテッソーリ教育、縦割り保育の三本を軸とする保育の充実
- * モンテッソーリ教育の園内研修の充実
- * 子どもの生活、自主選択活動の充実
- * 2歳児クラスの充実 保育時間を段階的に延ばす
- * 地域との連携 地域に密着した保育
- * 園庭遊具の点検と見直し 現在の安全基準に沿って

施設関係整備計画

- ◆ 雨水配管修繕工事 園舎屋根、樋新設工事
- ◆ 園庭 山遊び場 鉄骨腐食部分 修繕工事
- ◆ 園庭 遊具整備工事
- ◆ 2階廊下サッシ改修工事